

# 全国防災・危機管理トップセミナー

## 次 第

令和6年6月12日（水）  
全国都市会館 大ホール

1. 開会あいさつ (15:00～15:10)  
総務大臣、内閣府特命担当大臣（防災）
2. 市町村長の初動対応、危機管理対応 (15:10～15:45)  
静岡大学防災総合センター  
教授 牛山 素行 氏
3. 災害を経験した市長による講演 (15:45～16:25)  
石川県輪島市長 坂口 茂 氏  
石川県珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏
4. 市町村における危機管理について (16:25～16:30)  
消防庁国民保護・防災部長 小谷 敦

2. 市町村長の初動対応、危機管理対応  
※ 諸都合により資料提供できません

# 令和6年度能登半島地震

## 輪島市における被害の概要 及び対応状況について

### 輪島市

# 輪島市の概要

市制施行日	平成18年2月1日
面積	426.32km <sup>2</sup>
人口(R6.5.1現在)	21,867人
高齢化率( " )	49.138%

輪島市は、日本列島のほぼ真ん中、日本海に突き出た能登半島の北西部に位置し、「輪島塗」や「輪島朝市」、「白米千枚田」などの地域文化・伝統工芸・豊かな自然を有する自治体。



白米千枚田の夕陽



# 輪島市の概要

## 輪島塗



- ・日本を代表する伝統工芸
- ・木地から上塗、加飾まで120以上の工程を経て完成
- ・これまでに日本芸術院会員1名、人間国宝6名を輩出



## 輪島朝市

- ・日本三大朝市のひとつであり、その起源は約1000年前の物々交換から始まったと言われている
- ・約360mの通りに露店が180ほど立ち並び、鮮魚や海産物、野菜、民芸品などが販売されていた



# 輪島市の概要

## 白米千枚田



- ・1004枚もの小さな田が海岸まで続き、その幾何学模様は、絶景と呼ばれる
- ・日本で初めて認定された、**世界農業遺産**“能登の里山里海”のシンボリックな存在として、能登半島を代表する観光スポットとなっている
- ・景勝を保存するためオーナー制度を導入、関係人口の増大にもつながっている

## 輪島のブランド食材



天然輪島ふぐ



海女による採捕



加能ガニ



輪島海女採リアワビ

- ・漁業が盛んで、県内トップクラスの漁獲量を誇る
- ・中でも**「天然ふぐ」**の漁獲量は日本一
- ・「加能ガニ」と呼ばれるズワイガニや、海女さんが素潜りで採る「海女採リアワビ」、「輪島海女採りサザエ」なども輪島を代表する味覚
- ・「**輪島の海女漁の技術**」は、国の**重要無形民俗文化財**に指定されている

# 輪島市の地理的特性と課題

## ◎地理的特性

- ・ 能登半島の北に位置している。
- ・ 山地が全市面積の約78%を占め、平野が少なく東西に連なって海に面している。
- ・ 生活基盤が海岸線の低地に多く存在、山間部に集落が点在
- ・ ライフライン、交通、通信、港湾等のインフラが脆弱
- ・ 県都（金沢市）から遠方（約100km）

## ◎課題

- ・ 少子高齢化、人口減少
- ・ 人口23,118人（令和6年1月1日時点）  
21,867人（令和6年5月1日時点）

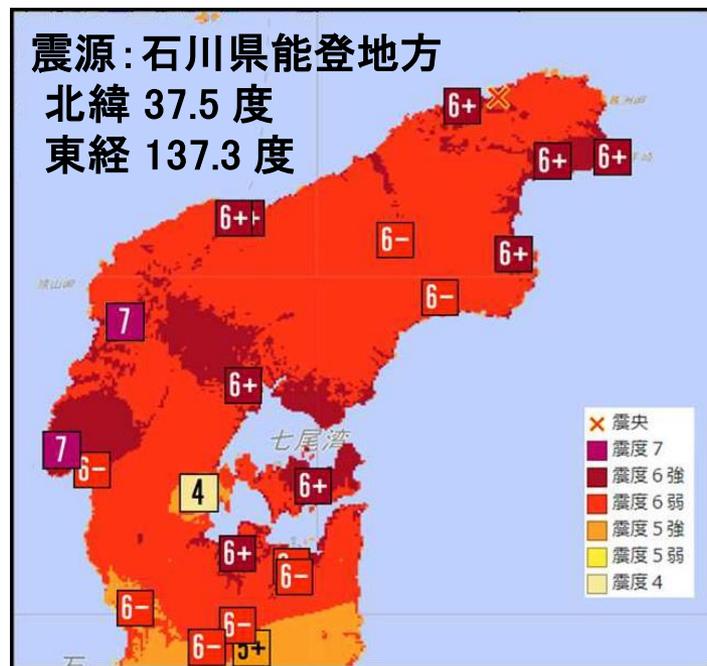
震災から **1,251人（5.4%）減少**

# 地震の概要（令和6年1月1日16時10分の地震）

- 令和6年（2024年）1月1日16時10分に**マグニチュード7.6**、深さ16kmの地震が発生し、石川県**輪島市**、志賀町で**震度7**を観測したほか、北海道から九州地方にかけて、震度6強～1を観測。
- この地震により石川県能登に対して大津波警報を、山形県から兵庫県北部を中心に**津波警報**を発表し、警戒を呼びかけた。
- 気象庁では、2024年1月1日に発生したマグニチュード7.6の地震及び2020年12月以降の一連の地震活動について、名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

## 各地の震度（震度5強以上）

- 石川県 **震度7** 輪島市、志賀、  
震度6強 七尾市、珠洲市、穴水町、能登町  
震度6弱 中能登町  
震度5強 金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達志水町
- 新潟県 震度6弱 長岡市  
震度5強 新潟中央区、新潟南区、新潟西区、新潟西蒲区、三条市、柏崎市、見附市、燕市、糸魚川市、妙高市、上越市、佐渡市、南魚沼市、阿賀町、刈羽村
- 富山県 震度5強 富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村
- 福井県 震度5強 あわら市

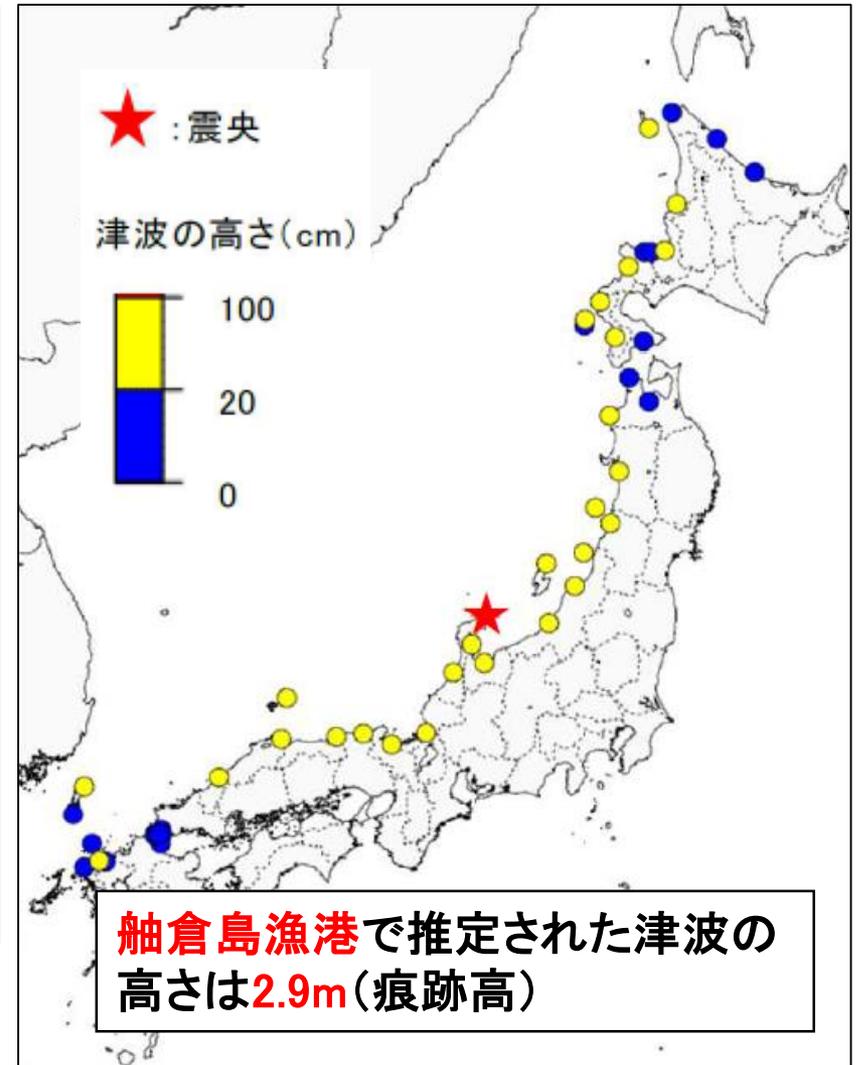


# 津波の状況

## ■津波警報等発表状況(1月1日16時22分発表)



## ■津波の観測状況



# 令和6年能登半島地震発災直後の状況

## ○ ライフライン

**全域で断水、広範囲での停電、ガスはプロパン**

## ○ インフラ

- **奥能登に通じる道路がほぼ寸断、通行不可  
(市街地間・集落間移動も土砂災害や道路崩落で不可)**
- **空港閉鎖、港湾施設は隆起で使用不可**
- **電話回線・ネット回線、テレビ受信障害  
(電波塔被害)**

# 輪島市における被害等の状況 (R6.6.5現在)

- **死者数** 112人 (うち関連死9人)
- **人的被害** 重症213人 軽傷303人    ▪ **行方不明者** 3人
- **住家被害** 14,816棟
  - 全 壊                    4,019棟    **27.1%**
  - 大規模半壊            880棟
  - 中規模半壊            1,189棟
  - 半 壊                    2,696棟
  - 準 半 壊            1,123棟    一部損壊    3,765棟
- **避難者数**    最大    避難所186箇所    **13,641人**
- **大規模火災**    輪島朝市周辺で発生    4.9ha    264棟焼失
- **海岸の隆起**    1.5m~4.0m    **土砂災害、津波など複合的な災害**
- **孤立集落**    最大で15地区    2,817人が孤立 (R6.2.13に孤立解消)
- **避難指示**    6地区 (288世帯    671人)

半壊以上    **8,784棟**  
**(59.3%)**

# 輪島市における被害等の状況

- ・ **道路関係** 国道470号・249号、主要地方道8路線、一般県道13路線、市道1,372路線のうち多数に甚大な被害
- ・ 土砂災害や河川(閉塞)、橋梁、港(陥没、海底地盤隆起)の被害  
1.5m~4.0m
- ・ 漁業施設、農林業施設、商工業施設、文化施設、教育施設、その他公共施設などの被害
- ・ **電気** ピーク時10,000戸以上停電  
(3/12 概ね復旧)
- ・ **水道** 給水戸数 11,434戸  
全域で断水発生  
(5月末おおむね復旧)



# 輪島市における被害等の状況

## 輪島朝市周辺



# 輪島市における被害等の状況

## 建物被害の一部

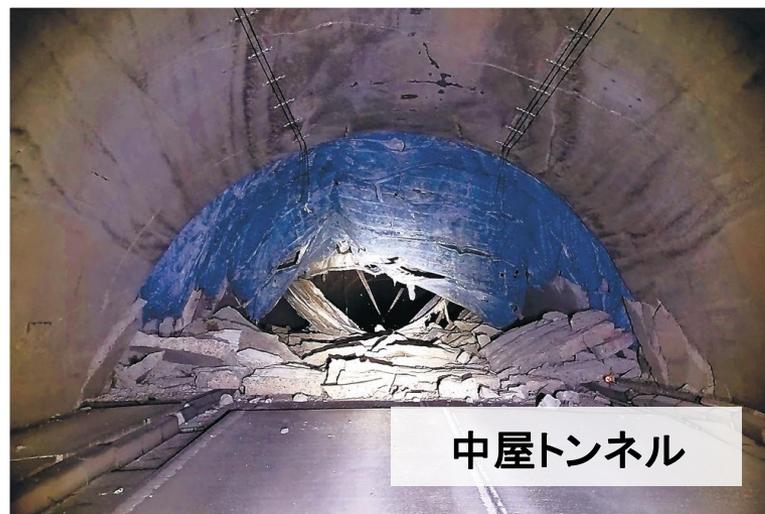


# 輪島市における被害等の状況

## 道路等被害の一部



下山町周辺



中屋トンネル



市役所周辺



市役所周辺

# 輪島市における被害等の状況

## 舳倉島の被害の一部



# 輪島市における被害等の状況

## 漁港被害の一部

輪島港/地盤隆起



鹿磯漁港/地盤隆起



輪島港/地盤隆起



黒島漁港/地盤隆起



# 輪島市における被害等の状況

## 土砂災害の一部

市ノ瀬町





# 輪島市における被害等の状況

## 河川閉塞(天然ダム)の一部

紅葉川(市ノ瀬町)



牛尾川(町野町)



(河原田川)熊野町



田長川(町野町)



### 【火災現場】

- ⇒断水の影響で消火栓が使えず、ガレキに防火水槽を阻まれた
- ⇒少数の消防、消防団による必死の活動



### 【倒壊家屋】、【土砂災害】

- ⇒倒壊家屋多数、土砂災害の規模が甚大
- ⇒自衛隊、警察、消防等による大規模な活動



### 【孤立集落】への対応

- ⇒広範囲に多数の孤立集落が発生
- ⇒対策本部を中心とした「孤立解消プロジェクトチーム」による情報収集と救出の優先順位・方法の検討
- ⇒自衛隊、消防、県、対策本部が連携して救出(ヘリ等による救出)

# 輪島市における対応状況

## 孤立集落



ヘリの待機場所まで案内



ヘリ搭乗の手助け



ヘリ搭乗



救出後に避難所へ案内

# 震災発生時の問題点

- ・ 被害状況の把握が進まない
- ・ 本庁、支所、出張所間の連絡にも障害
- ・ 限られた職員での対応
- ・ 市外からの救援・応援の到着までに長時間かかる
- ・ 孤立集落への対応（救助、物資、連絡手段）
- ・ 断水による消防活動の制限
- ・ 医師数、病床数に限りあり負傷者、急病人への対応が困難
- ・ 建物や道路被害により使用できない避難所もあった
- ・ 自衛隊、警察、消防等の待機場所確保が困難
- ・ 避難所として指定していない、市役所本庁舎や消防署へ避難者が押し寄せ、防災拠点としての機能低下
- ・ 想定をはるかに超えた災害の発生により、当初の災害対応は混乱を極めた
- ・ 発生が元旦であったため、各種機関は休みであった
- ・ 輪島朝市周辺で地震による大規模火災発生

2024年1月1日 16時10分 発生

# 令和6年能登半島地震

珠洲市における被害の概要

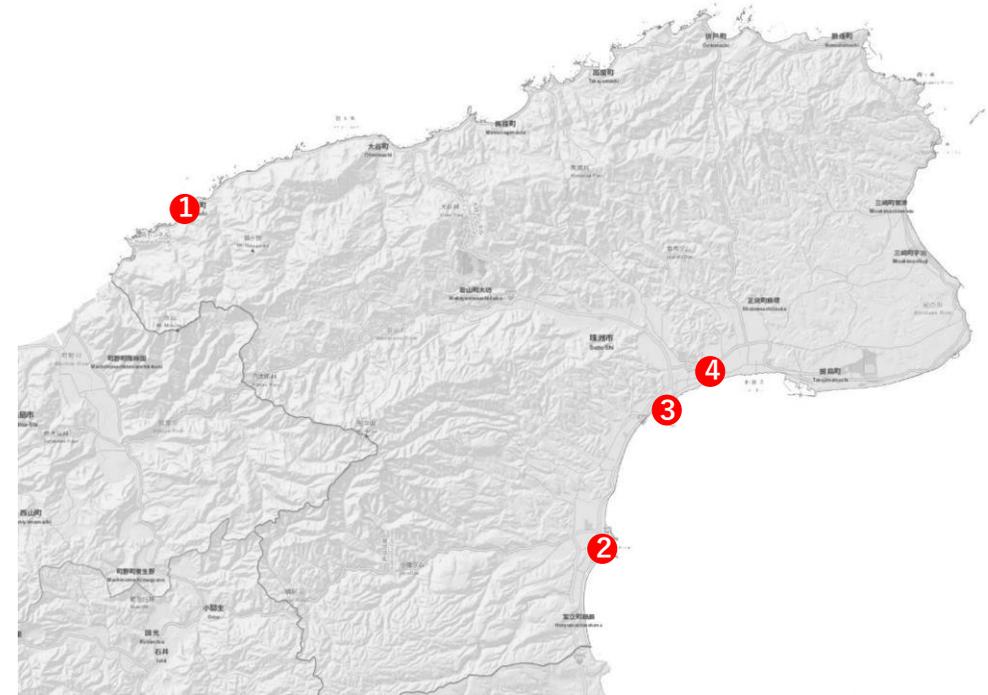
珠洲市

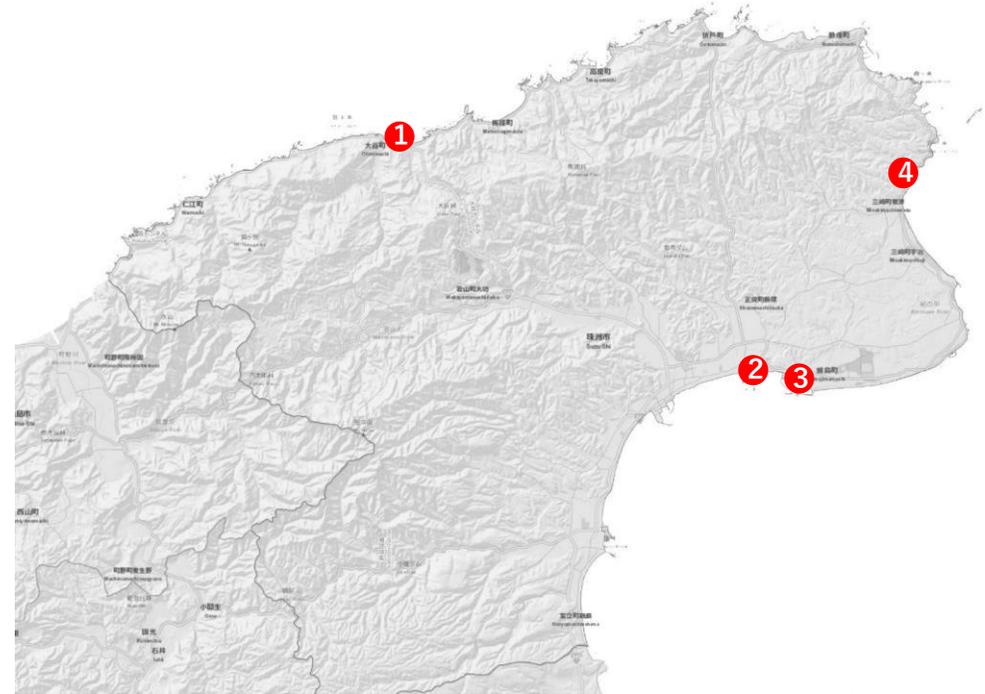
## ○津波

観測地点	内容
飯田港	4.3 m (痕跡高)
鵜飼漁港	2.7 m (痕跡高)
見付公園	2.9 m (痕跡高)

※津波観測点の長橋は、地盤隆起による海底の露出が確認され、観測不可能津波による浸水の痕跡は認められず







# 珠洲市における被害の状況（6月3日現在）

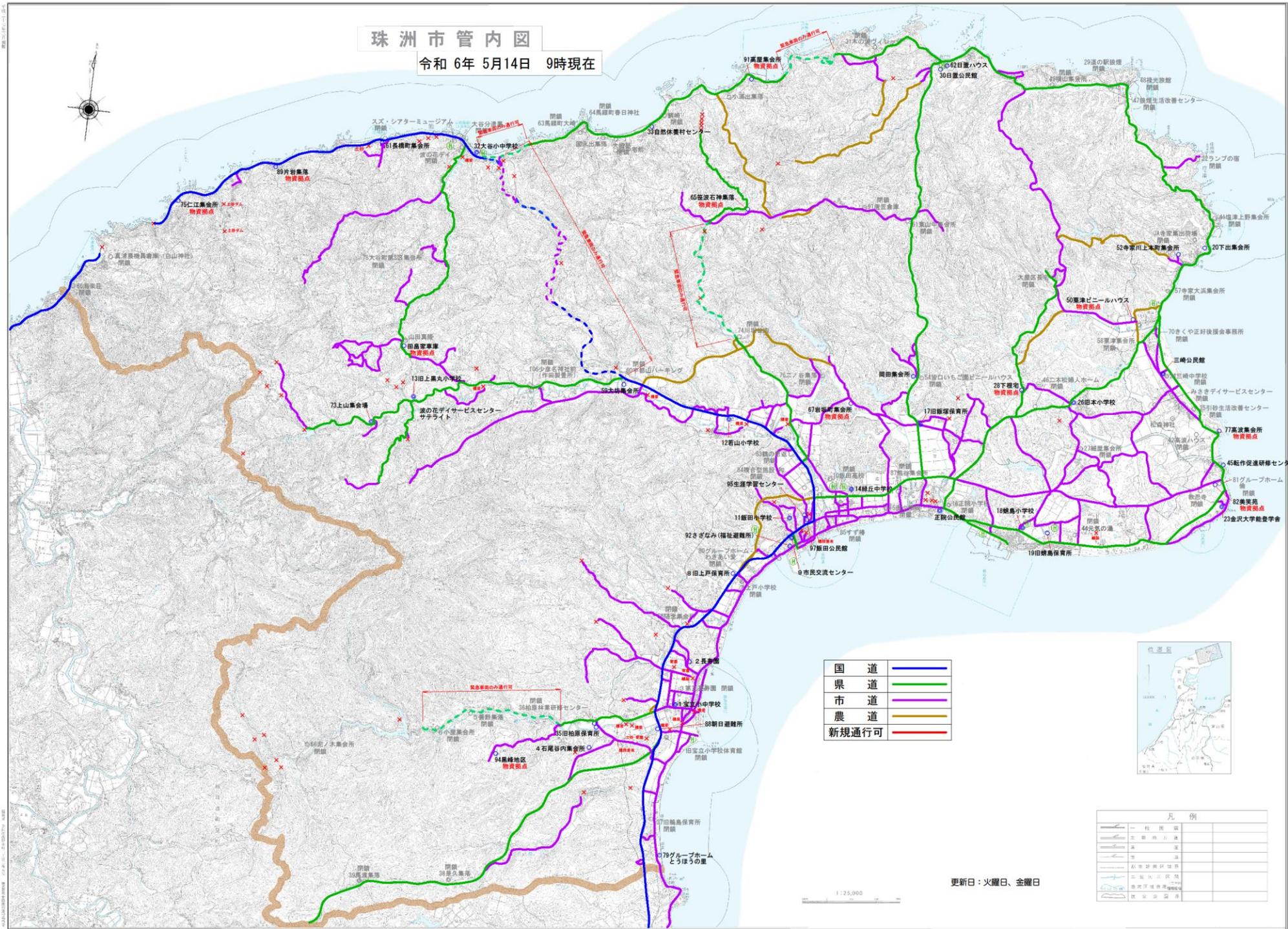
	人数（内訳）	
死者	111人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○参考（R6.5.1現在）</p> <p>人口 11,913人  <small>男性 5,572人                      女性 6,341人</small></p> <p>65歳以上 6,192人  <small>75歳以上 3,790人</small></p> <p>高齢化率 51.98%  <small>後期高齢化率 31.81%</small></p> </div>
重症者	47人	
軽傷者	202人	

	箇所数・人数
避難所数	27か所（1/4現在93か所）
避難者数	371人（1/4現在7,668人）
参考	1.5次避難 16人（累計173人） 2次避難 334人（2/21現在915人）

り災区分	
全壊	1,672棟
大規模半壊	389棟
中規模半壊	480棟
半壊	990棟
準半壊	880棟
一部損壊	931棟
計	5,342棟

# 珠洲市管内図

令和 6年 5月14日 9時現在



国道	<span style="color: blue;">—</span>
県道	<span style="color: green;">—</span>
市道	<span style="color: purple;">—</span>
農道	<span style="color: orange;">—</span>
新規通行可	<span style="color: red; border-bottom: 1px dashed red;">—</span>



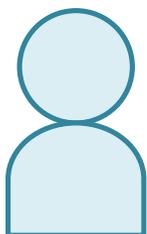
凡例	
	一 種 別 道
	二 種 別 道
	三 種 別 道
	四 種 別 道
	五 種 別 道
	六 種 別 道
	七 種 別 道
	八 種 別 道
	九 種 別 道
	十 種 別 道

更新日：火曜日、金曜日

# 市町村における危機管理について

令和6年6月12日（水）  
総務省消防庁国民保護・防災部長  
小谷 敦

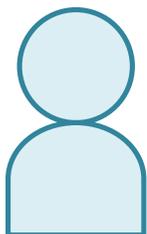
# 1 市町村長による危機管理の要諦①



A市長

- 情報伝達には10種類のツールを使っている。まず自分のことを守って、そしてお隣さんと情報共有。**我々としては怒られるくらい情報提供するしかない**。残念だったのは防災ラジオの電源が入っていない人がいたこと。

避難情報を市民に伝える10種類のツール①防災無線 ②防災ラジオ ③市情報メール ④市ホームページ ⑤行政放送（チャンネル△△△） ⑥FM〇〇 ⑦市公式LINE ⑧緊急速報メール ⑨Lアラート ⑩広報車  
また気象警報以上の防災気象情報についても、発表されたら直ちに③④⑤⑥⑦で伝えられる



B市長

- 避難の呼びかけは、メールやLINEなどの文字情報も大事だが、切迫感が伝わりにくい。今回は**「緊急市長メッセージ」の動画を急ぎょ撮影しネットで配信し、私自身が顔を出して見せて安全確保を呼びかけた**。「市長が言っているのだから」と受け止めてもらえて、手ごたえを感じた。

- 首長が正確な判断を下すためには、**経験豊富な防災担当職員**が必要。防災担当の職員は2年や3年の**短期で異動させないようにしている**。災害時には首長はデータに基づいて迅速に判断をしなくてはならない。防災担当の部署で経験を積んだ職員がデータを分析し**「これがこうなってこうだから、今こうした方がいいのではないか」と、首長に進言できる、情報を上げられるような体制が大事だ**。

# 1 市町村長による危機管理の要諦②

- 「市町村長による危機管理の要諦」は、市町村長が災害対応で経験したことを、良かった点、失敗談も含めて、市町村長のためにまとめた冊子です。
- 市町村長はもちろん、防災・危機管理関係の職員も、ぜひ一度ご一読ください。

## 初動対応に関する重要事項

1	市町村長の責任・心構え	<ul style="list-style-type: none"><li>● 危機管理においては、<b>トップである市町村長が全責任を負う覚悟</b>をもって陣頭指揮を執る</li></ul>
2	市町村長の緊急参集	<ul style="list-style-type: none"><li>● 危機事態が発生した場合は、最悪の事態を想定し、<b>一刻も早く本庁舎に駆けつける</b></li></ul>
3	災害時の 応急体制の早期確立	<ul style="list-style-type: none"><li>● 体制構築等が早すぎて避難されることはない。</li><li>● <b>躊躇せずに災害対策本部等を立ち上げる</b></li></ul>
4	避難指示等の的確な発令	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>避難指示等の発令は、住民の生命を守るための災害時における市町村長の最大の使命</b></li></ul>
5	都道府県、消防機関、 自衛隊等に対する応援要請	<ul style="list-style-type: none"><li>● まず、<b>都道府県、消防機関、自衛隊等へ一報する</b></li></ul>
6	マスコミ等を活用した 住民への呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>市町村長が自ら全面に出て会見を行い、住民へのメッセージ等を伝える</b></li></ul>

### 3 市町村長の災害対応力強化のための研修（マンツーマン研修）

- ◆ 実際の災害対応に近い形で、判断を求められる訓練のため、**今後の災害対応に必要な対応を学ぶことができます**
- ◆ **研修指導員からの的確な助言・指摘により、理解を深める機会**になります
- ◆ **来年度も実施する予定**ですので、是非御参加をお願いします



市町村長の受講の様子（オンライン研修）

#### 研修の概要

市町村長を対象に、研修指導員と1対1で行うシミュレーション訓練（平成30年度から実施）

日程：	前期	後期
研修時期	6月（定員140名）	11月（定員100名）
募集開始	4月※	9月

※前期の募集は全て終了しました。

- 内容：
- 1 市町村の災害対応体制の確立
  - 2 避難情報の発令判断と伝達
  - 3 大規模災害発生直後の被害状況の確認
  - 4 マスコミ対応
  - 5 避難所の設置・運営

#### 受講者からの感想

- ◆ 研修を受けた**98%**の参加者が「良かった」と回答。  
「令和5年度の災害を中心とした事例集」から抜粋
- ◆ **現実に対応すべきことを、これはどうだ、これはどうだと問われて、非常に勉強になった。**まだ避難所は開設していないが避難指示をどうするかとか、**どんどん質問が来るのに、即座に答えられない自分が歯がゆい。**研修でいただいた名刺大のカードを、いつも持ち歩き、カードを見て思い出す。「最初は人命救助」、「避難の情報は空振りを恐れるな」、「早期に防災体制を整備する」とか。
- ◆ 再確認事項も多かったが、「マスコミとの対応で最初に何を言いますか」と言う話とか、**非常に効果的でリアルな研修だった。**これが非常にためになった。